令和７年　４月　１日
校　長　決　定

令和７年度東京都立総合工科高等学校（全日制課程）学校経営計画

１　目指す学校像

本校の教育目標

創　造（Create）：実験・実習などの体験的学習を通して、科学技術やものづくりの不思議さや面白さを体感し、広い視野から自然や社会とのつながりの中で考える力を育成する。
探　求（Career）：個性を伸ばし、自己について探求し、自己の進路を切り拓くことのできる自己実現力を身に付けさせ、将来のスペシャリストを育成する。
協　同（Cooperate）：心身健やかであり、特別活動やボランティア活動などの諸活動を通して、規範意識をもち、他者と協調し、国際社会に貢献できる豊かな人間性を育成する。

学校の教育目標を達成するために、教職員が一致団結し、**「面倒見のよい総工」**を意識し、学校経営に参画することによって、次に示す学校像の実現をめざす。

① 大学進学を目指して本校で工業技術の基礎・基本を学んだ後、更に上級学校で知識・技術を高めて、将来日本の工業界を支える技術者となる人材を育成する学校
② 好奇心をもって主体的に取り組み、ものづくりの楽しさを実感しながら「考える力」「学び続ける力」「協働する力」を育成する学校
③ 国際化、情報化など大きく変化する社会に対応し、将来国際社会で活躍することができる技術者を育成する学校
④ 生徒の安心・安全を重視し、生徒が「通いたい」、保護者が「通わせたい」、地域に信頼された学校

２　スクール・ミッション（学校の使命）

「創造、探求、協同」を教育目標とし、実験・実習などの体験的学習、特別活動やボランティア活動といった教育活動を通じて、科学技術やものづくりを体感し、広い視野から自然や社会とのつながりの中で考える力や規範意識をもち、他者と協調し、国際社会に貢献できる人材を育成します。

スクール・ポリシー（教育方針）

（１）グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）
・確かな学力と工業技術の基礎・基本を習得し、将来日本の健全で持続可能な工業界を担う技術者の育成
・ものづくりの面白さを理解すると共に社会や企業が必要とする工業についての確かな技術の習得
・国際化・情報化などの大きく変化する社会に対応し、将来国際社会で活躍することができる技術者の育成
（２）カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成および実施に関する方針）
・学びに向かう力・人間性：基本的な学習習慣、他者と協働する力
・生きて働く知識・技能：技術者の使命と責任、基礎的な加工・生産技術
・工業を学ぶ上での論理的思考力・判断力・表現力：ものづくりにおける創造力、工業科課題研究における探究力
（３）アドミッション・ポリシー（入学者受け入れに関する方針）
・自然科学や先端技術に興味・関心をもち、理工系大学への進学を目指す生徒
・魅力ある学校づくりに取り組もうとするなど、意欲的で帰属意識・協調性に富んだ生徒
・自ら課題を見つけ探究していく意欲に満ちた生徒
・部活動やボランティア活動に積極的に参加し、学習と両立させていく強い意志のある生徒

３　令和７年度学校経営の重点

「面倒見のよい総工」ブランドの確立　～生徒の希望進路の実現～
① 生徒に寄り添い「希望進路に向け諦めない心」を育成する親身な指導
② 大学進学にも就職にも強い進路保障
③ 魅力の創生・発信、入学希望者、応募倍率の向上

４　中期的目標と方策

（１）大学進学を重視した工業系専門高校としてのコンセプトを継続する

ア　大学進学に対応した教育活動を推進し、「大学進学率５０％」を追求する。またその取組みと実績を広く中学校や地域に周知し、工学を学びながら大学進学を目指す生徒の募集を推進する。

イ　相互授業参観や授業観察等を通して、ＩＣＴを活用し、生徒の主体的・対話的な深い学びを引き出し、学ぶ楽しさを実感できる授業づくりを推進する。

ウ　「課題解決型学習」（ＰＢＬ）や「探究型学習」による課題研究の成果を、総合型選抜入試（ＡＯ入試）や学校推薦型選抜（公募制）などの大学進学に積極的に活用する。

（２）部活動を核として特別活動を充実させ、活気ある学校づくりを推進する

ア　本校の恵まれた校地や施設・設備を活用した、魅力ある部活動を推進する。

イ　スポーツや工業分野において卓越した能力をもつ生徒の個性を一層伸長させ、本校の特色化を推進するために、文化・スポーツ等特別推薦を実施する。

ウ　学校行事を活性化させ、本校生徒としての自覚と誇りを涵養し、生徒の健全育成を推進する。

（３）工業系専門高校としての特色ある教育活動を充実させる

ア　企業、高等教育機関等の連携を推進し、常に新しい知識や技術に興味関心を高める教育活動を充実させる。

イ　将来国際社会で活躍する技術者育成のため、国際理解教育を充実させ、コミュニケーション能力を高めると共に、海外の技術進歩を意識させる技術教育を推進する。

ウ　産業界における技術革新やＤＸの推進に対応できる人材の素地を育成する。

エ　電気自動車、蓄電技術、コンピュータ解析技術、ドローン技術など先端技術分野の学習をとおして、創造的な活動の楽しさを学ぶことで学習意欲を向上させる。

オ　「Ｎｅｘｔ　Ｋｏｇｙｏ　ＳＴＡＲＴ　Ｐｒｏｊｅｃｔ」による工業高校改革を全教職員で推進する。

カ　新類型・学校設定科目「デザイン工学」「まちづくり」・「建築デザイン」等を検討し、新たな魅力を創生する。

（４）「面倒見のよい総工」ブランドを確立し、魅力を発信する。

ア　全教職員が共通理解のもと授業規律を重視し、教育環境を整える。

イ　日常の声がけ、挨拶の励行により、生徒の規範意識を醸成する。

ウ　生徒に寄り添い粘り強く親身に指導し、一人でも多くの生徒を進級・卒業させる。

エ　系統的なキャリア教育の実践により、生徒の進路希望を実現する。

オ　広報・募集対策委員会を中心に全教職員による学校見学会・説明会・学習塾訪問・中学校出前授業の実施、さらにＨＰやＸ、Ｙｏｕｔｕｂｅ、Ｉｎｓｔａｇｒａｍ、ＴｉｋＴｏｋなどＳＮＳを活用し、募集・広報活動に取り組み、日頃の教育活動と成果を中学生とその保護者、中学校教職員や地域・都民の方々に向け広く発信する。

５　今年度の取組目標と方策

（１）学習活動

目標：**大学進学を重視する学力向上策の推進**		
方策（下位目標）	主担当	数値目標
①　「総工学力スタンダード」に基づいた学習指導の推進【1-1】	各教科主任 全教員	・学力調査達成率（目標値達成科目数／調査科目数）７０％以上
②　課題の複線化を図り、成績上位層を伸ばす授業の充実【1-2】	各教科	・成績優秀者（４．３以上） 各学年３０％以上
③　スローラーナーに対するきめ細かい学習指導【1-3】	全教員 各教科主任	・朝学習（朝から開始の行事日を除く毎日） ・スタディサプリの導入（毎日）
④　「課題解決型学習」（ＰＢＬ）や「探究型学習」による課題研究の充実（総合型選抜入試に対応できる研究内容）【1-4】	工業科	・研究成果発表会（各科１回） ・下級生への発表会（各科１回）
⑤　大学進学を支援する取組みの推進【1-5】	教務部 進路指導部 学力向上推進委員会	・基礎力診断テスト（年３回） ・進学対象補習　適宜 ・長期休業中の補習・補講４０講座 ・放課後自習スペースの開放　毎日 ・土曜日の学習サポート２０回

⑥　授業力向上のための授業参観の実施【1-6】	教務部 全教員	・若手教員育成研修、中堅教諭資質向上研修等の授業研究を活用した授業参観 ・教科内での授業研究年２回以上。教科を越えた授業参観年１回以上 ・他校の指導教員の授業見学
⑦　生徒の主体的・対話的で深い学びの視点での授業の推進【1-7】	全教員	・ＩＣＴの活用と学ぶ楽しさを実感できる視点での授業観察　年２回
⑧　放課後や長期休業日を活用した資格取得講座の実施【1-8】	工業科	・資格・検定合格者　２５０名以上
⑨　英語技能検定、数学技能検定、漢字能力検定への取組みの推進【1-9】	関係３教科	・検定合格者　合計３０名以上
⑩　創造的・論理的思考力の育成、各種コンテスト、コンクール、大会などへの生徒参加の促進【1-10】	各教科	・コンテスト等参加団体　１０団体以上 ・各教科　１種以上
⑪　読書活動の推進【1-11】	教務部 国語科	・未読率０％ ・書評合戦の活用
⑫　外部人材を活用した主権者教育の推進【1-12】	地歴公民科	・有権者生徒の投票率　７０％以上
⑬　道徳教育の推進【1-13】	全教職員	・校内研修　１回以上
⑭　学習目標の可視化により、生徒の主体的な学びの推進【1-14】	全教員	・ルーブリックの活用 ・観点別評価の適正実施

（２）生活指導

目標：**組織的な生活指導による規律ある生徒の育成**		
方策（下位目標）	主担当	数値目標
①　「生活指導規定」に基づく指導の徹底【2-1】	生活指導部 全教職員	・特別指導件数０件以内 ・皆勤、精勤　各学年５０％以上
②　・挨拶・言葉遣い・身だしなみ・マナー等の遵守【2-2】	生活指導部 全教職員	・登校時立ち番　挨拶励行（毎日） ・異装、染髪、ピアス：０
③　校内美化の徹底【2-3】	生活指導部	・日常清掃　毎日 ・特別清掃　８回
④　警察と連携した交通安全指導（特に自転車）の徹底【2-4】	生活指導部 全教職員	・ヘルメット着用率１００％ ・交通安全教室　２回 ・重大事故　０件
⑤　情報モラル指導の充実【2-5】	生活指導部	・ＳＮＳ安全講座１回
⑥　いじめ総合対策に基づいた組織的な対応【2-6】	生活指導部	・いじめ状況調査（年３回以上） ・いじめ、不登校による中途退学０人
⑦　特別支援教育（教育相談）への対応【2-8】	担任 特別支援 ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ 養護教諭	・ケース会議 ・教育相談委員会（月１回） ・ＳＣとの連携 ・外部機関との連携
⑧　全教職員が一丸となった授業規律の確立【2-9】	全教職員	・チャイム始業の徹底 ・巡回指導の実施（適宜）

（3）進路活動

目標： **キャリア教育の充実による大学進学率５０%の実現**		
方策（下位目標）	主担当	数値目標
① 大学進学に向けたキャリア教育の充実【3-1】	進路指導部	・大学進学率５０％
② 学力診断テスト等を活用した進学指導の推進【3-2】	各教科 進路指導部	・学習到達ゾーンC段階以上５０％ ・学力向上推進委員会　年８回
③ 生徒の適性を踏まえた就職指導の充実【3-3】	進路指導部 全教職員	・就職希望者の内定率　１００％ ・公務員試験対策指導　８回
④ 入学から卒業まで３年間を見据えた系統的なキャリア教育の充実【3-4】	進路指導部 学力向上推進委員会	・「進路の手引き」の活用 ・朝学習の実施（スタディサプリの導入）
⑤ 大学との連携事業の推進【3-5】	進路指導部	・大学模擬授業　１回 ・大学見学会　１回
⑥ 「人間と社会」の体験活動として全員インターンシップの実施【3-6】	キャリア教育委員会	・企業等新規開拓　２０社以上 ・全教職員による巡回指導

（4）特別活動・部活動

目標：**国際理解教育の充実と活気あふれる学校づくり**		
方策（下位目標）	主担当	数値目標
① 「国際理解教育」 「グローバル人材育成」 【4-1】	海外交流事業推進委員会 英語科	・姉妹校との国際交流　２回以上 ・オンライン交流　２回以上 ・生徒委員会　毎月１回以上
② 「部活動に係る活動方針」に基づく部活動の推進【4-2】	生活指導部 各部活動	・部活動加入率　７５％以上 ・ＨＰ等への活動報告　月１回
③ 中学校や地域と連携した部活動の推進【4-3】	教務部 各部活動	・部活動体験入部　８回
④ 文化・スポーツ等特別推薦の検証と改善【4-4】	教務部 該当部活動	・文化・スポーツ等特別推薦倍率１．２倍以上
⑤ 学校行事の活性（すばる祭、総工祭等）【4-5】	生活指導部	・生徒の満足度　８０％以上 ・総工祭来校者数　１５００人以上
⑥ 礼節や愛校心・帰属意識の涵養【4-6】	生活指導部 全教職員	・礼法指導の実施 ・校歌指導の実施　（行事ごと）
⑦ 創立２０周年記念事業実行委員会設置【4-7】	教務部 生活指導部	・教育成果発表 ・生徒活動報告

（5）健康・安全

目標：**健康づくりと防災・安全指導の推進**		
方策（下位目標）	主担当	数値目標
① 安全指導の推進【5-1】	生活指導部	・安全指導に関する研修　３回
② 生徒の健康づくりの推進【5-2】	生活指導部	・健康指導　１回以上
③ 「アクティブプランｔｏ　２０２０」に基づく体力向上の取組みの推進【5-3】	保健体育科	・体力テスト都、全国の平均値以上

④ いじめ・自殺防止に重点を置いた生徒相談体制（ＳＯＳの出し方指導）の充実【5-4】	生活指導部 教育相談委員会	・新入生のＳＣ全員面接　１回 ・特別指導時のＳＣの活用（毎回） ・いじめ状況調査に基づいた面談
⑤ 食育教育の充実【5-5】	食育リーダー	・「食育推進」の実施
⑥ 学習環境の整備と計画的な維持・管理【5-6】	経営企画室	・生徒の安全に係る施設・設備の点検　３回
⑦ 関係機関や地域と連携した防災訓練の実施【5-7】	生活指導部 防災教育推進委員会	・防災体制マニュアルの改訂 ・関係機関、地域と連携した防災訓練　１回 ・防災活動支援隊の編成

（6）募集・広報活動

目標：**募集対策の充実と開かれた学校づくり**		
方策（下位目標）	主担当	数値目標
① 応募倍率の向上【6-1】	広報・募集対策委員会	・推薦応募倍率　１．５倍 ・学力検査応募倍率　１．２倍 ・学習塾訪問　３００校以上（１人５校以上）
② 中学校と連携した広報活動の推進【6-2】	広報・募集対策委員会	・出前授業３０回以上 ・生徒母校訪問 ・体験入学の実施（年４回１８０名） ・中学校訪問・チラシ配布　４０校以上
③ 地域交流の推進【6-3】	工業科	・ＳＥＩＪＯ ＧＵＲＥＥＮ ＣＩＴＹ参画 ・世田谷区立小学校及び大学と連携 ・近隣小学校の社会科見学　１回
④ ＨＰの刷新とＳＮＳでの情報発信の充実【6-4】	教務部 各担当	・ホームページ・Ｘ更新３００回以上 ・Ｙｏｕｔｕｂｅ、Ｉｎｓｔａｇｒａｍ、ＴｉｋＴｏｋ 制作・発信　月１回以上 ・学校案内全面改訂
⑤ 保護者宛て配布物のＷｅｂ化【6-5】	分掌主任 学年主任	・学校版Ｃｌａｓｓｉの活用 ・学年通信、分掌通信等、毎号
⑥ 「生徒の姿が見える」学校 PR の推進【6-6】	教務部（広報担当）	・「生徒会、部活動、委員会等、生徒の姿が見える」学校見学会・説明会　６回
⑦ 「中学生目線」の授業公開【6-7】	教務部	・授業公開　２回
⑧ 生徒による校内美化活動の推進【6-8】 「通いたい学校」の環境づくり	全教職員	・特別清掃（年８回）及び日常の美化活動

（7）学校経営・組織体制

目標：**「面倒見のよい総工」ブランドの確立**		
方策（下位目標）	主担当	数値目標
① ミドルマネジメントによる戦略的な学校経営の推進【7-1】	主幹教諭 主任教諭	・経営会議による課題対応　月１回
② ＯＪＴ診断基準、執務ガイドラインを活用した人材育成の推進【7-2】	主幹教諭 主任教諭	・主任教諭育成実践プログラム３回（全定協働） ・自己申告時に点検　年３回
③ 情報セキュリティにかかわる規定の改訂、厳守【7-3】	経営企画室 全教職員	・個人情報紛失事故０件 ・クリーンデスクの励行 ・シュレッダー停止期間の設定　年６回

④　経営参画ガイドラインに基づいた経営企画室の経営参画【7-4】	経営企画室	・校内手続きマニュアル整備・改訂 ・自律経営予算の執行率６０％
⑤　経営企画室の確実な執務執行【7-5】	経営企画室	・現物照合リストの整備・更新 ・学校徴収金の適正執行 ・文書保存の一元化 ・会計事故０件
⑥　全・定の学校運営連携の推進【7-6】	経営企画室	・全・定連絡会３回
⑦　自己申告目標を通した学校経営計画の具現化【7-7】	全教職員	・学校経営計画との関連を明確にした自己申告面接　年３回
⑧　服務事故を「しない・させない・許さない」職場づくり【7-8】	全教職員	・服務事故０件 ・校内研修年３回以上
⑨　中途退学率の減少【7-9】	全教職員	・中途退学率　１．５％以内
⑩　ライフ・ワーク・バランスの実現【7-10】	全教職員	・各種会議　５０分以内 ・月８０時間以上の超過勤務　０人 ・定時退庁ウィーク設定　年２回 ・電子起案１００％による業務効率化 ・育児休業を取得しやすい環境整備 ・時差勤務の活用 ・テレワークの活用 ・年次有給休暇１５日以上取得
⑪　体罰、不適切な指導の根絶【7-11】	全教職員	・体罰０件、暴言０件 ・校内研修　３回
⑫　教職員間での情報共有の活性化【7-12】	全教職員	・ＴＡＩＭＳ端末共有フォルダの活用
⑬　ペーパーレス化の推進【7-13】	全教職員	・共有フォルダによる会議資料事前共有の実施
⑭　校内施設点検・整備【7-14】	経営企画室 全教職員	・校内施設点検・把握・整備・美化活動の推進